

【建築・電気科3年電気コース】

課題研究 電ボラ52班 ⑳

令和3年度、電気で地域を元気にするボランティアねっと江津、通称「電ボラ52」班では、授業や実習で学んだ電気の知識・技能を生かし、地域の高齢独居宅や公共施設などを訪問させていただき、照明器具やエアコンの清掃点検、電気配線の安全確認などを行っています。

令和3年12月22日（水）、江津市有福温泉町（仮称：有福STYLE）のリニューアル工事現場において施工する電気工事会社の指導のもとで電気工事を行っています。



幹線および及び分岐回路
←入線の様子



分岐回路の接続の様子→

本日は、分電盤取付と幹線の入線、分岐回路の入線と接続を行いました。

店舗には分岐回路が多数必要であるため、幹線の容量を大きくしなければなりません。また、既設部分にも正しく供給する必要があり、新設する分電盤の各配線用遮断器に正しく接続が行えるよう、こまめな確認が必要な作業となりました。

※一般住宅、商店などの建物や工場などの電気設備の安全を守るために、工事の範囲によって、一定の資格がなければ、電気工事を行ってはならないことが、電気工事士法で決められています。作業に関する資格は、第一種電気工事士、第二種電気工事士などがあります。電ボラ52に関わる生徒は、在学中に第二種電気工事士の取得や、第一種電気工事士に合格しております。また作業現場には、有資格者の教員が監督しています。さらに、現場や施工内容によっては、電気工事業者の方に同行・指導をいただき、安全に作業を実施しています。